

対象校No. 1003  
注4

学校コード F133310109652  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

届出

注2  
環太平洋大学 体育学部 競技スポーツ科学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 創志学園  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務課
職名・氏名	シユニン ヒラタ タカシ 主任・平田 貴志
電話番号	086-201-3151 (内線: 5104)
(夜間)	086-201-3151 (内線: 5104)
e-mail	kyoumuka@ipu-japan.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 体育学部

＜競技スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人創志学園

## (2) 大学名

環太平洋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒709-0863

岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( マスダ テツヤ ) 増田 哲也 (R5.4)		
学長	( オオハシ セツコ ) 大橋 節子 (R4.4)		
学部長	( ミウラ コウジ ) 三浦 孝仁 (H31.4)		
学科長等	( ヤノ トモヒコ ) 矢野 智彦 (R6.4)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
体育学部 競技スポーツ科学科 学士（体育学）	体育関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	-

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100人	-	-	-	1.23倍	一倍
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	202	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	193	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	134	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	123	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.23	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	123 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{123} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<体育学部 競技スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語・文化領域	英会話	1前	2								兼1	
	日本の伝統文化	1前		2							兼1	
	英語 I	1後		2							兼1	
	多文化共生のための異文化理解	2後		2							兼2	
	英語 II	2前		2							兼1	
	英語 III	2前		2							兼1	
	英語 IV	2後		2							兼1	
	小計(7科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	汎用的技能領域	コンピュータリテラシー I	1前	2								兼1
		体育実技	1前		1							兼1
		非認知能力育成 I	1前	2								兼1
		TOEIC I	1前		2							兼1
		TOEIC III	1前		2							兼1
コンピュータリテラシー II		1後	2								兼1	
体育理論		1後		1							兼4	
非認知能力育成 II		1後		2							兼1	
TOEIC II		1後		2							兼1	
TOEIC IV		1後		2							兼1	
コンピュータリテラシー III		2前		2							兼1	
統計学		3前		2							兼1	
コンピュータリテラシー IV		3前		2							兼1	
小計(13科目)	-	6	18	0	0	0	0	0	0	0	兼11	
人間・表現領域	表現活動による人間力養成 I	1通		2							兼2	
	心理学	1前		2							兼1	
	哲学	1前		2							兼1	
	倫理学(宗教を含む)	1後		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 II	2通		2							兼2	
	人権と教育	2前		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 III	3通		2							兼2	
	コミュニケーションの心理学	3前		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 IV	4通		2							兼2	
	人間と法	4前		2							兼1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
数理領域	数学基礎 I	2前		2							兼1	
	数学基礎 II	2後		2							兼1	
	自然科学基礎	3前		2							兼1	
	食育論	3前		2							兼1	
	生命科学基礎	3前		2							兼1	
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼3
社会領域	日本国憲法	1後		2							兼1	
	国際関係論	2前		2							兼1	
	労働法規	3前		2							兼1	
	近現代史	3後		2							兼1	
	地理・地政学	3後		2							兼1	
	労働安全衛生法	3後		2							兼1	
	小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語・文化領域	英会話	1前	2								兼1	
	日本の伝統文化	1前		2							兼1	
	英語 I	1後		2							兼1	
	多文化共生のための異文化理解	2後		2							兼1	
	英語 II	2前		2							兼1	
	英語 III	2前		2							兼1	
	英語 IV	2後		2							兼1	
	小計(7科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	汎用的技能領域	コンピュータリテラシー I	1前	2						4		兼1
		体育実技	1前		1					1		兼6
		非認知能力育成 I	1前	2						1		兼1
		TOEIC I	1前		2							兼1
		TOEIC III	1前		2							兼1
コンピュータリテラシー II		1後	2						3		兼1	
体育理論		1後		1							兼4	
非認知能力育成 II		1後		2							兼1	
TOEIC II		1後		2							兼1	
TOEIC IV		1後		2							兼1	
コンピュータリテラシー III		2前		2							兼1	
統計学		3前		2							兼1	
コンピュータリテラシー IV		3前		2							兼1	
小計(13科目)	-	6	18	0	0	0	0	5	0	0	兼10	
人間・表現領域	表現活動による人間力養成 I	1通		2							兼1	
	心理学	1前		2							兼1	
	哲学	1前		2							兼1	
	倫理学(宗教を含む)	1後		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 II	2通		2							兼2	
	人権と教育	2前		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 III	3通		2							兼2	
	コミュニケーションの心理学	3前		2							兼1	
	表現活動による人間力養成 IV	4通		2							兼2	
	人間と法	4前		2							兼1	
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
数理領域	数学基礎 I	2前		2							兼1	
	数学基礎 II	2後		2							兼1	
	自然科学基礎	3前		2							兼1	
	食育論	3前		2					1		兼1	
	生命科学基礎	3前		2							兼1	
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	1	0	0	兼2
社会領域	日本国憲法	1後		2							兼1	
	国際関係論	2前		2							兼1	
	労働法規	3前		2							兼1	
	近現代史	3後		2							兼1	
	地理・地政学	3後		2							兼1	
	労働安全衛生法	3後		2							兼1	
	小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キャリア領域	基礎ゼミナールⅠ	1通	2								兼1
	フレッシュマンセミナー	1通	2								兼1
	ボランティア活動	1通		2							兼1
	コーチング基礎	1通		2							兼1
	基礎ゼミナールⅡ	2通	2								兼1
	キャリアディベロップメント	2通	2								兼1
	ビジネスコーチング	2通		2							兼1
	ライフコーチング	2通		2							兼1
	キャリアデザインⅠ	3前	1								兼3
	キャリアデザインⅡ	3後	1								兼3
	キャリアサポート	4前		2							兼1
	小計(6科目)	-	10	10	0	0	0	0	0	0	0
専門基礎科目	アスリートキャリアⅠ(クロスオーバースキル)	1前	2			1					
	トレーナー論	1前		2				1			
	健康科学概論	1前		2			1				
	体育原理	1前		2							兼1
	コーチング論	2前		2			1				兼2
	アスリートキャリアⅡ(スポーツコンプライアンス)	2後	2				1				
	アスリートキャリアⅢ(スポーツリスクマネジメント)	3前	2				1				
	スポーツ史	3前		2							兼1
	アスリートキャリアⅣ(メディアマネジメント)	4後	2				1				
	小計(9科目)	-	8	10	0	1	1	1	0	0	0
身体機能領域	スポーツ科学入門	1前	2			1					
	運動器の解剖と機能Ⅰ	1前		2							兼1
	スポーツデータサイエンス入門	1後	2								兼1
	トレーニング科学Ⅰ(基礎)	1後		2		1					
	運動器の解剖と機能Ⅱ	1後		2							兼1
	救急処置法	2前	2								兼1
	スポーツ栄養学	2前		2							兼1
	スポーツ心理学	2前		2				1			
	スポーツ生理学	2前		2		1					
	トレーニング科学Ⅱ(応用)	2前		2		1					
	スポーツバイオメカニクス	2後		2				1			
小計(11科目)	-	6	16	0	1	0	2	0	0	0	兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア領域	基礎ゼミナールⅠ	1通	2							1		
	フレッシュマンセミナー	1通	2									兼1
	ボランティア活動	1通		2								兼1
	コーチング基礎	1通		2								兼1
	基礎ゼミナールⅡ	2通	2									兼1
	キャリアディベロップメント	2通	2									兼1
	ビジネスコーチング	2通		2								兼1
	ライフコーチング	2通		2								兼1
	キャリアデザインⅠ	3前		1								兼3
	キャリアデザインⅡ	3後		1								兼3
	キャリアサポート	4前		2								兼1
	小計(6科目)	-	8	12	0	0	0	0	1	0	0	兼9
専門基礎科目	アスリートキャリアⅠ(クロスオーバースキル)	1前	2			1	1	1				
	トレーナー論	1前		2								兼1
	健康科学概論	1前		2								兼1
	体育原理	1前		2								兼1
	コーチング論	2前		2			1					兼2
	アスリートキャリアⅡ(スポーツコンプライアンス)	2後	2				1					
	アスリートキャリアⅢ(スポーツリスクマネジメント)	3前	2				1					
	スポーツ史	3前		2								兼1
	アスリートキャリアⅣ(メディアマネジメント)	4後	2				1					
	公衆衛生学	2前		2						1		
小計(10科目)	-	8	12	0	1	1	2	0	0	0	兼6	
身体機能領域	スポーツ科学入門	1前	2			1						
	運動器の解剖と機能Ⅰ	1前		2								兼1
	スポーツデータサイエンス入門	1後	2									1
	トレーニング科学Ⅰ(基礎)	1後		2		1						
	運動器の解剖と機能Ⅱ	1後		2								兼1
	救急処置法	2前	2									兼1
	スポーツ栄養学	2前		2								1
	スポーツ心理学	2前		2						1		
	スポーツ生理学	2前		2		1						
	トレーニング科学Ⅱ(応用)	2前		2		1						
	スポーツバイオメカニクス	2後		2							1	
	運動学	1後		2								兼1
	生理学	1後		2								兼1
小計(13科目)	-	6	20	0	1	0	4	0	0	0	兼4	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コア科目	化身体領域	フィットネスプログラム論	2前	2				1				兼1	
	障害者スポーツ論	3前	2									兼1	
	小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	1	0	0		兼1	
	身体機能領域	トレーニング演習 I (基礎)	1後	2				1					兼1
		競技スポーツアナリティクス演習A(レース分析)	2前	2									兼1
		アスレティックトレーナー現場実習 I	2前	1								1	兼1
		スポーツ外傷・障害の基礎知識 I	2前	2									兼1
		トレーニング演習 II (応用)	2後	2								1	兼1
		競技スポーツアナリティクス演習B(ゲーム分析)	2後	2									兼1
		競技スポーツ栄養学演習A(体調管理)	2後	2								1	兼1
		競技スポーツ心理学演習A(競技能力心理検査)	2後	2					1				兼1
		予防とコンディショニング I	2後	2									兼1
		トレーニング演習 III (発展)	3前	2					1				兼1
		競技スポーツアナリティクス演習C(レースプラン)	3前	2			1						兼1
		競技スポーツ栄養学演習B(競技力向上)	3前	2								1	兼1
		競技スポーツ心理学演習B(メンタルトレーニング)	3前	2					1				兼1
		競技スポーツバイオメカニクス演習A(動作分析)	3前	2			1						兼1
		体力科学実験演習I(基礎)	3前	2				1					兼1
		競技スポーツアナリティクス演習D(ゲームプラン)	3後	2			1						兼1
		競技スポーツバイオメカニクス演習B(スキル分析)	3後	2			1						兼1
		体力科学実験演習 II (応用)	3後	2			1						兼1
健康管理とスポーツ医学		3後	2									兼1	
トレーニング指導実習		3通	1									兼1	
トレーニング演習IV(専門)	4前	2									兼1		
小計(21科目)	-	0	40	0	3	1	2	0	0		兼7		
コア科目	身体活動実績領域	水泳	1前	1				1					
		陸上 I (基礎)	1前	1				1					
		雪上スポーツ	1後	1				1					
		器械運動	1後	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 I	1通	2			1						
		インクルーシブスポーツ	1通	1								兼1	
		競技スポーツパフォーマンス実習 I	1通	2					1				
		競技スポーツパフォーマンス実習 II	2通	2					1				
		キャンプ実習	2前	1								兼1	
		ダンス	2前	1								兼1	
		バスケットボール I (基礎)	2前	1								兼1	
		剣道 I (基礎)	2前	1								兼1	
		柔道 I (基礎)	2前	1			1						
		サッカー	2後	1								兼1	
		ソフトボール	2後	1								兼1	
		ラグビー	2後	1								兼1	
		バスケットボール II (応用)	2後	1								兼1	
		剣道 II (応用)	2後	1								兼1	
		柔道 II (応用)	2後	1			1						
		陸上 II (応用)	2後	1					1				
		バレーボール I (基礎)	2後	1								兼1	
		ハンドボール I (基礎)	2後	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 II	2通	2			1						
		ハンドボール II (応用)	3前	1								兼1	
		バレーボール II (応用)	3前	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 III	3通	2			1						
		競技スポーツパフォーマンス実習 III	3通	2			1					1	
		ゼミナール I (基礎)	3通	4			5	1	4				
		ハイパフォーマンススポーツ演習 IV	4通	2			1						兼1
		競技スポーツパフォーマンス実習 IV	4通	2			1					1	
		ゼミナール II (応用)	4通	4			5	1	4				
		卒業研究	4通	4			5	1	4				
小計(32科目)	-	8	41	0	6	1	4	0	0		兼15		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コア科目	化身体領域	フィットネスプログラム論	2前	2								兼1	
	障害者スポーツ論	3前	2					1				兼1	
	小計(2科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0		兼2	
	身体機能領域	トレーニング演習 I (基礎)	1前	2									兼1
		競技スポーツアナリティクス演習A(レース分析)	2前	2									兼1
		アスレティックトレーナー現場実習 I	2前	1							1		兼1
		スポーツ外傷・障害の基礎知識 I	2前	2									兼1
		トレーニング演習 II (応用)	2前	2							1		兼1
		競技スポーツアナリティクス演習B(ゲーム分析)	2後	2									兼1
		競技スポーツ栄養学演習A(体調管理)	2後	2							1		兼1
		競技スポーツ心理学演習A(競技能力心理検査)	2後	2							1		兼1
		予防とコンディショニング I	2後	2									兼1
		トレーニング演習 III (発展)	3前	2									兼1
		競技スポーツアナリティクス演習C(レースプラン)	3前	2			1						兼1
		競技スポーツ栄養学演習B(競技力向上)	3前	2							1		兼1
		競技スポーツ心理学演習B(メンタルトレーニング)	3前	2							1		兼1
		競技スポーツバイオメカニクス演習A(動作分析)	3前	2			1						兼1
		体力科学実験演習I(基礎)	3前	2							1		兼1
		競技スポーツアナリティクス演習D(ゲームプラン)	3後	2			1						兼1
		競技スポーツバイオメカニクス演習B(スキル分析)	3後	2			1						兼1
		体力科学実験演習 II (応用)	3後	2			1				1		兼1
健康管理とスポーツ医学		3後	2									兼1	
トレーニング指導実習		3通	1								1	兼1	
トレーニング演習IV(専門)	4前	2								1	兼1		
小計(21科目)	-	0	40	0	3	0	5	0	0		兼5		
コア科目	身体活動実績領域	水泳	1前	1							1		
		陸上 I (基礎)	1前	1							1		
		雪上スポーツ	1後	1							1		
		器械運動	1後	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 I	1通	2			1						
		インクルーシブスポーツ	1通	1							1		
		競技スポーツパフォーマンス実習 I	1通	2							1		
		競技スポーツパフォーマンス実習 II	2通	2							1		
		キャンプ実習	1前	1							1		
		ダンス	2前	1								兼1	
		バスケットボール I (基礎)	2前	1								兼1	
		剣道 I (基礎)	2前	1								兼1	
		柔道 I (基礎)	2前	1						1			
		サッカー	2後	1								兼1	
		ソフトボール	2後	1								兼1	
		ラグビー	2後	1								兼1	
		バスケットボール II (応用)	2後	1								兼1	
		剣道 II (応用)	2後	1								兼1	
		柔道 II (応用)	2後	1						1			
		陸上 II (応用)	2後	1							1		
		バレーボール I (基礎)	2後	1								兼1	
		ハンドボール I (基礎)	2後	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 II	2通	2			1						
		ハンドボール II (応用)	3前	1								兼1	
		バレーボール II (応用)	3前	1								兼1	
		ハイパフォーマンススポーツ演習 III	3通	2			1						
		競技スポーツパフォーマンス実習 III	3通	2			1					1	
		ゼミナール I (基礎)	3通	4			5	1	6				
		ハイパフォーマンススポーツ演習 IV	4通	2			1						兼1
		競技スポーツパフォーマンス実習 IV	4通	2			1					1	
		ゼミナール II (応用)	4通	4			5	1	6				
		卒業研究	4通	4			5	1	6				
小計(32科目)	-	8	41	0	4	1	7	0	0		兼11		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
シ ン プ タ ー ン	海外研修	1通		1			1					
	インターンシップ	3通		2								兼1
	小計(2科目)	-	0	3	0	0	1	0	0	0		兼1
合計(129科目)		-	40	196	0	6	1	4	0	0		兼56
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目より必修科目を含む30単位以上を修得し、専門基礎科目から必修科目を含む24単位以上、コア科目から必修科目を含む46単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>なお、コア科目(身体活動実践領域)の選択科目のうち、水泳、雪上スポーツ、キャンプ実習から1科目、サッカー、ソフトボール、ダンス、ラグビー、器械運動、バスケットボールⅠ(基礎)、バスケットボールⅡ(応用)、剣道Ⅰ(基礎)、剣道Ⅱ(応用)、柔道Ⅰ(基礎)、柔道Ⅱ(応用)、陸上Ⅰ(基礎)、陸上Ⅱ(応用)、バレーボールⅠ(基礎)、バレーボールⅡ(応用)、ハンドボールⅠ(基礎)、ハンドボールⅡ(応用)から1科目を選択必修とする。 (履修科目登録の上限:40単位(年間))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
シ ン プ タ ー ン	海外研修	3通		1								兼1
	インターンシップ	3通		2								兼1
	小計(2科目)	-	0	3	0	0	0	0	0	0		兼2
合計(132科目)		-	38	204	0	4	1	7	0	0		兼40
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目より必修科目を含む30単位以上を修得し、専門基礎科目から必修科目を含む24単位以上、コア科目から必修科目を含む46単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>なお、コア科目(身体活動実践領域)の選択科目のうち、水泳、雪上スポーツ、キャンプ実習から1科目、サッカー、ソフトボール、ダンス、ラグビー、器械運動、バスケットボールⅠ(基礎)、バスケットボールⅡ(応用)、剣道Ⅰ(基礎)、剣道Ⅱ(応用)、柔道Ⅰ(基礎)、柔道Ⅱ(応用)、陸上Ⅰ(基礎)、陸上Ⅱ(応用)、バレーボールⅠ(基礎)、バレーボールⅡ(応用)、ハンドボールⅠ(基礎)、ハンドボールⅡ(応用)から1科目を選択必修とする。 (履修科目登録の上限:40単位(年間))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ 科目担当者変更の理由により、「多文化共生のための異文化理解」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「コンピュータリテラシーⅠ」の専任教員等の配置に「講師4」を追加。
- ・ 科目担当者変更の理由により、「体育実技」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 科目担当者変更の理由により、「非認知能力育成Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更し、「講師1」を追加。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「コンピュータリテラシーⅡ」の専任教員等の配置に「講師3」を追加。
- ・ 科目担当者変更の理由により、「表現活動による人間力養成Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「食育論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 全学共通教養科目変更の理由により、「地理・地政学」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・ 全学共通開講となるが、学科特有のキャリアデザインが必要なため「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を選択に変更。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「アスリートキャリアⅠ(クロスオーバースキル)」の専任教員等の配置に「准教授1」「講師1」を追加。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「トレーナー論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 専任教員辞任により、「健康科学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育内容の充実と資格取得を可能とするため、「公衆衛生学」(講師1)、「運動学」(兼任・兼任1)、「生理学」(兼任・兼任1)を追加。
- ・ 科目担当者変更の理由により、「スポーツデータサイエンス入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「スポーツ栄養学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 授業計画を変更した理由により、「スポーツ心理学」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「フィットネスプログラム論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「障害者スポーツ論」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
- ・ 授業計画および専任教員の異動の理由により、「トレーニング演習Ⅰ(基礎)」の配当年次を「1後」から「1前」へ、「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 授業計画および専任教員の異動の理由により、「トレーニング演習Ⅱ(応用)」の配当年次を「2後」から「2前」へ、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「競技スポーツ栄養学演習A(体調管理)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「競技スポーツ栄養学演習B(競技力向上)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 科目担当者変更の理由により、「体力科学実験演習Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「体力科学実験演習Ⅱ(応用)」の専任教員等の配置に「講師1」を追加。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「トレーニング指導実習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「トレーニング演習Ⅳ(専門)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「陸上Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置に「兼任・兼任1」を追加。
- ・ 専任教員の配置変更および科目担当者追加の理由により、「ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」へ変更、「講師4」「兼任・兼任1」を追加。
- ・ 科目担当者追加の理由により、「インクルーシブスポーツ」の専任教員等の配置に「教授1」「講師2」を追加。
- ・ 授業計画および専任教員の異動の理由により、「キャンプ実習」の配当年次を「2前」から「1前」へ、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「柔道Ⅰ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「柔道Ⅱ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「競技スポーツパフォーマンス実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「ゼミナールⅠ(基礎)」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」へ、「講師3」から「講師6」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「ゼミナールⅡ(応用)」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」へ、「講師3」から「講師6」に変更。
- ・ 専任教員の配置変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」へ、「講師3」から「講師6」に変更。
- ・ 授業計画および科目担当者変更の理由により、「海外研修」の配当年次を「1通」から「3通」へ、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	110 科目	科目	129 科目	17 科目 [△2]	115 科目 [5]	科目 [ ]	132 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	雪上スポーツ	1	1後		選択	隔年開講にしたため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

雪上スポーツ開講にあたり、一定数の履修者を確保し実習費単価を下げることで、学生の費用負担を軽減するため、隔年開講とした。卒業要件として水泳、雪上スポーツ、キャンプ実習から1科目を選択必修としているが、キャンプ実習の配当年次を1前に変更し、学科生は全員履修できる環境を整えたため、卒業要件が不足するような影響はない。2025年度は雪上スポーツを開講していく。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{129} = \boxed{0.77} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 借用面積：820.86㎡ 借用期間：平成27年10月1日～令和17年9月30日（20年）			
	校舎敷地	153,263.58㎡	— ㎡	— ㎡	153,263.58㎡				
	運動場用地	68,411.08㎡	— ㎡	— ㎡	68,411.08㎡				
	小計	221,674.66㎡	— ㎡	— ㎡	221,674.66㎡				
	その他	248,270.78㎡	— ㎡	— ㎡	248,270.78㎡				
	合計	469,945.44㎡	— ㎡	— ㎡	469,945.44㎡				
(2) 校舎	専用	35,212.85㎡	— ㎡	— ㎡	35,212.85㎡	大学全体 借用面積：820.86㎡ 借用期間：平成27年10月1日～令和17年9月30日（20年）			
	(35,212.85㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	(35,212.85㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	38室	16室	20室	1室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数		一部共同研究室利用のため			
	体育学部 競技スポーツ科学科			9 +0 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学科単位での特定不能なため、大学全体の数	
		競技スポーツ科学科	93,671 [8,519] (93,671 [8,519])	6,423 [4,668] (6,423 [4,668])	6,233 [4,659] (6,233 [4,659])	1,658 (1,658)	4,757 (4,557)		574 (554)
	計	93,671 [8,519] (93,671 [8,519])	6,423 [4,668] (6,423 [4,668])	6,233 [4,659] (6,233 [4,659])	1658 (1,658)	4,757 (4,557)	574 (554)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	808.63㎡		280席		50,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,283.80㎡		ソフトボール場、野球場、屋内練習場		陸上競技場、フットサル場、ラグビー・サッカー場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	職位別個人研究費 教授30万円 准教授24万円 講師18万円 助教12万円 ・共同研究費は全学部共通 ・図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	2,000千円	2,000千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	1,700千円	1,700千円	1,700千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,400千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、証明手数料収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	環太平洋大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
体育学部	4	360	-	1,440	-	1.06	-	-	平成19	-			
体育学科	4	200	-	1,100	学士(体育学)	1.03	-	-	平成19	岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721	令和6年度から入学定員変更 定員振替(300→200)		
健康科学科	4	60	-	240	学士(健康科学)	1.01	-	-	平成24	同上			
競技スポーツ科学科	4	100	-	100	学士(体育学)	1.23	-	-	令和6	同上	令和6年度から学科届出設置 定員振替(0→100)		
次世代教育学部	4	200	-	800	-	0.95	-	-	平成19	同上			
こども発達学科	4	80	-	320	学士(次世代教育学)	0.81	-	-	平成19	同上			
教育経営学科	4	120	-	480	学士(次世代教育学)	1.04	-	-	平成19	同上			
経済経営学部	4	250	3年次50	1,050	-	0.74	-	令和4	平成28	-	令和4年度から入学定員変更		
現代経営学科	4	250	50	1,050	学士(経営学)	0.74	-	令和4	平成28	同上	(200→250)		
大学全体	4	810	50	3,290	-	-	-	-	-	-			
次世代教育学部	4	80	340	1,000	-	1.14	-	-	平成19	同上			
教育経営学科 [通信教育課程]	4	80	3年次340	1,000	学士(次世代教育学)	1.14	-	-	平成19		※専攻別に募集していないため、 平均入学定員超過率は学科全体 となる。		
初等教育専攻	4	20	150	-	-	-	-	-	-	-			
中高英語教育専攻	4	20	20	-	-	-	-	-	-	-			
中高数学教育専攻	4	20	20	-	-	-	-	-	-	-			
看護教育専攻	4	20	150	-	-	-	-	-	-	-			
大学全体(通信教育課程)	4	80	340	1,000	-	-	-	-	-	-			
大学全体	4	240	3年次10	980	-	-	-	-	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教員組織の状況

<体育学部 競技スポーツ科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	三浦 孝仁 (66) <令和6年4月> 博士
		アスリートキャリアⅠ(クロス オーバースキル) アスリートキャリアⅡ(スポー ツコンプライアンス) アスリートキャリアⅢ(スポー ツリスクマネジメント) 障害者スポーツ論 アスリートキャリアⅣ(メディ アマネジメント)
専	教授 (学科 長)	矢野 智彦 (50) <令和6年4月> 博士
		柔道Ⅰ(基礎) 柔道Ⅱ(応用) 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅲ 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅳ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	三浦 孝仁 (66) <令和6年4月> 博士
		<b>インクルーシブスポーツ ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ</b> アスリートキャリアⅠ(クロス オーバースキル) アスリートキャリアⅡ(スポー ツコンプライアンス) アスリートキャリアⅢ(スポー ツリスクマネジメント) 障害者スポーツ論 アスリートキャリアⅣ(メディ アマネジメント)
専	准教 授 (学科 長)	矢野 智彦 (50) <令和6年4月> 博士
		<b>アスリートキャリアⅠ(クロス オーバースキル)</b> 柔道Ⅰ(基礎) 柔道Ⅱ(応用) 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅲ 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅳ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	嘉戸 洋 (52) <令和6年4月> 修士
		ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ コーチング論 ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅱ ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅲ ゼミナールⅠ(基礎) ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅳ ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	教授	浅井 武 (68) <令和6年4月> 博士
		競技スポーツバイオメカニクス演習A(動作分析) 競技スポーツバイオメカニクス演習B(スキル分析) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	教授	西嶋 尚彦 (67) <令和6年4月> 博士
		競技スポーツアナリティクス演習C(レース分析) 競技スポーツアナリティクス演習D(ゲーム分析) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	嘉戸 洋 (52) <令和6年4月> 修士
		ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ コーチング論 ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅱ ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅲ ゼミナールⅠ(基礎) ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅳ ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	教授	浅井 武 (68) <令和6年4月> 博士
		競技スポーツバイオメカニクス演習A(動作分析) 競技スポーツバイオメカニクス演習B(スキル分析) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	教授	西嶋 尚彦 (67) <令和6年4月> 博士
		競技スポーツアナリティクス演習C(レース分析) 競技スポーツアナリティクス演習D(ゲーム分析) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉岡 利貢 (45) <令和6年4月> 博士
		スポーツ科学入門 トレーニング科学Ⅰ(基礎) 基礎ゼミナールⅡ キャリアディベロップメント スポーツ生理学 トレーニング科学Ⅱ(応用) 体力科学実験演習Ⅰ(基礎) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	准教授	前川 真姫 (38) <令和6年4月> 博士
		健康科学概論 海外研修 体力科学実験演習Ⅱ(応用) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	講師	佐々木 史之 (54) <令和6年4月> 修士
		スポーツ心理学 競技スポーツ心理学演習A(競技 能力心理検査) 競技スポーツ心理学演習B(メン タルトレーニング) 雪上スポーツ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉岡 利貢 (45) <令和6年4月> 博士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ</b> スポーツ科学入門 トレーニング科学Ⅰ(基礎) スポーツ生理学 トレーニング科学Ⅱ(応用) <b>体力科学実験演習Ⅱ(応用)</b> ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
兼任	教授	<b>大橋 節子 (69) &lt;令和6年4月&gt; 博士</b>
		<b>表現活動による人間力養成Ⅰ 表現活動による人間力養成Ⅱ 表現活動による人間力養成Ⅲ 表現活動による人間力養成Ⅳ</b>
専	講師	佐々木 史之 (54) <令和6年4月> 修士
		<b>インクルーシブスポーツ コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ</b> スポーツ心理学 競技スポーツ心理学演習A(競技 能力心理検査) 競技スポーツ心理学演習B(メン タルトレーニング) 雪上スポーツ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	品田 直宏 (38) <令和6年4月> 修士
		陸上Ⅰ(基礎) 陸上Ⅱ(応用) 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅰ 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅱ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	講師	明石 啓太 (36) <令和6年4月> 博士
		スポーツバイオメカニクス 水泳 ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	講師	國友 亮佑 (36) <令和6年4月> 修士
		基礎ゼミナールⅠ フレッシュマンセミナー トレーナー論 トレーニング演習Ⅰ(基礎) フィットネスプログラム論 トレーニング演習Ⅲ(発展) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	品田 直宏 (38) <令和6年4月> 修士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ</b> 陸上Ⅰ(基礎) 陸上Ⅱ(応用) 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅰ 競技スポーツパフォーマンス実 習Ⅱ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	講師	明石 啓太 ( <b>27</b> ) <令和6年4月> 博士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ</b> スポーツバイオメカニクス 水泳 ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
<b>兼任</b>	講師	國友 亮佑 (36) <令和6年4月> 修士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ</b> <b>バスケットボールⅠ(基礎)</b> <b>バスケットボールⅡ(応用)</b> トレーナー論 トレーニング演習Ⅰ(基礎) フィットネスプログラム論 トレーニング演習Ⅲ(発展)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	早田 剛 (47) <令和6年4月> 博士
		コンピュータリテラシーⅠ 体育原理 スポーツデータサイエンス入門 コンピュータリテラシーⅡ インターンシップ
兼任	教授	河合 洋二郎 (66) <令和6年4月> 博士
		健康管理とスポーツ医学
兼任	教授	古山 喜一 (58) <令和6年4月> 博士
		運動器の解剖と機能Ⅰ 運動器の解剖と機能Ⅱ
兼任	教授	小川 正人 (60) <令和6年4月> 博士
		ボランティア活動 多文化共生のための異文化理解 近現代史 地理・地政学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	早田 剛 (47) <令和6年4月> 博士
		<b>運動学</b> コンピュータリテラシーⅠ 体育原理 コンピュータリテラシーⅡ インターンシップ
兼任	教授	河合 洋二郎 (66) <令和6年4月> 博士
		健康管理とスポーツ医学
兼任	教授	小川 正人 (60) <令和6年4月> 博士
		<b>非認知能力育成Ⅰ</b> ボランティア活動 多文化共生のための異文化理解 近現代史 地理・地政学 <b>海外研修</b>
兼任	教授	<b>中原 朋生</b> (54) <令和6年4月> 博士
		<b>非認知能力育成Ⅰ</b>
兼任	教授	<b>井上 聡</b> (62) <令和6年4月> 博士
		<b>非認知能力育成Ⅰ</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮園 司史 (63) <令和6年4月> 学士
		日本国憲法
兼任	教授	梶原 洋一 (65) <令和6年4月> 学士
		人権と教育
兼任	教授	真田 久 (68) <令和6年4月> 博士
		スポーツ史
兼任	教授	大塚 愛二 (68) <令和6年4月> 博士
		生命科学基礎 自然科学基礎
兼任	教授	佐藤 典子 (64) <令和6年4月> 修士
		コーチング基礎 ビジネスコーチング キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアサポート
兼任	教授	渡邊 淳志 (51) <令和6年4月> 博士
		TOEICⅠ TOEICⅡ TOEICⅢ TOEICⅣ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮園 司史 (63) <令和6年4月> 学士
		日本国憲法
兼任	教授	梶原 洋一 (65) <令和6年4月> 学士
		人権と教育
兼任	教授	真田 久 (68) <令和6年4月> 博士
		スポーツ史
兼任	教授	大塚 愛二 (68) <令和6年4月> 博士
		生命科学基礎 自然科学基礎
兼任	教授	佐藤 典子 (65) <令和6年4月> 修士
		ビジネスコーチング キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアサポート

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	十河 直太 (46) <令和6年4月> 博士
		バレーボールⅠ(基礎) キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	小玉 京士朗 (43) <令和6年4月> 修士
		障害者スポーツ論
兼任	准教授	平田 佳弘 (64) <令和6年4月> 修士
		剣道Ⅱ(応用)
兼任	准教授	木戸 和彦 (52) <令和6年4月> 修士
		数学基礎Ⅰ 数学基礎Ⅱ 統計学 コンピュータリテラシーⅣ
兼任	准教授	三垣 雅美 (52) <令和6年4月> 修士
		英語Ⅲ
兼任	准教授	赤松 久美子 (66) <令和6年4月> 修士
		心理学 コミュニケーションの心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	十河 直太 (46) <令和6年4月> 博士
		<b>健康科学概論</b> <b>生理学</b> バレーボールⅠ(基礎) キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	小玉 京士朗 (43) <令和6年4月> 修士
		障害者スポーツ論
兼任	准教授	平田 佳弘 (64) <令和6年4月> 修士
		<b>剣道Ⅰ(基礎)</b> 剣道Ⅱ(応用)
兼任	准教授	木戸 和彦 (52) <令和6年4月> 修士
		<b>キャリアディベロップメント</b> 数学基礎Ⅰ 数学基礎Ⅱ 統計学 コンピュータリテラシーⅣ
兼任	准教授	三垣 雅美 (52) <令和6年4月> 修士
		英語Ⅲ
兼任	准教授	赤松 久美子 (66) <令和6年4月> 修士
		心理学 コミュニケーションの心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河野 儀久 (56) <令和6年4月> 修士
		予防とコンディショニング I
兼任	講師	小澤 尚子 (36) <令和6年4月> 修士
		ダンス
兼任	講師	梶谷 亮輔 (32) <令和6年4月> 博士
		体育理論 コーチング論
兼任	講師	白石 翔 (35) <令和6年4月> 修士
		体育理論 インクルーシブスポーツ
兼任	講師	保科 圭汰 (33) <令和6年4月> 修士
		コンピュータリテラシー I 体育理論 スポーツ栄養学 競技スポーツ栄養学演習A (体調 管理) 競技スポーツ栄養学演習B (競技 力向上) 食育論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河野 儀久 (56) <令和6年4月> 修士
		予防とコンディショニング I <b>運動器の解剖と機能 I</b> <b>運動器の解剖と機能 II</b>
兼任	講師	小澤 尚子 (36) <令和6年4月> 修士
		ダンス
兼任	講師	梶谷 亮輔 (32) <令和6年4月> 博士
		<b>非認知能力育成 I</b> <b>陸上 I (基礎)</b> コーチング論
兼任	講師	白石 翔 (35) <令和6年4月> 修士
		体育理論 インクルーシブスポーツ
<b>専</b>	講師	保科 圭汰 (33) <令和6年4月> 修士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演 習 I</b> <b>公衆衛生学</b> コンピュータリテラシー I <b>コンピュータリテラシー II</b> 体育理論 スポーツ栄養学 競技スポーツ栄養学演習A (体調 管理) 競技スポーツ栄養学演習B (競技 力向上) 食育論 <b>ゼミナール I (基礎)</b> <b>ゼミナール II (応用)</b> <b>卒業研究</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江波戸 智希 (36) <令和6年4月> 修士
		アスレティックトレーナー現場 実習Ⅰ トレーニング演習Ⅱ(応用) トレーニング指導実習 トレーニング演習Ⅳ(専門)
兼任	講師	宮本 彩 (38) <令和6年4月> 博士
		コンピュータリテラシーⅢ
兼任	講師	JasonWitthaus (48) <令和6年4月> 修士
		英会話 英語Ⅰ 英語Ⅳ
兼任	講師	酒井 健太郎 (36) <令和6年4月> 博士
		非認知能力育成Ⅰ 哲学 非認知能力育成Ⅱ 倫理学(宗教を含む)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	江波戸 智希 (36) <令和6年4月> 修士
		ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ 基礎ゼミナールⅠ アスレティックトレーナー現場 実習Ⅰ トレーニング演習Ⅱ(応用) トレーニング指導実習 トレーニング演習Ⅳ(専門) ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
専	講師	宮本 彩 (38) <令和6年4月> 博士
		ハイパフォーマンススポーツ演 習Ⅰ アスリートキャリアⅠ(クロス オーバースキル) コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ コンピュータリテラシーⅢ インクルーシブスポーツ ゼミナールⅠ(基礎) ゼミナールⅡ(応用) 卒業研究
兼任	講師	JasonWitthaus (48) <令和6年4月> 修士
		英会話 英語Ⅰ 英語Ⅳ
兼任	講師	酒井 健太郎 (36) <令和6年4月> 博士
		非認知能力育成Ⅰ 哲学 非認知能力育成Ⅱ 倫理学(宗教を含む)



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 大輔 (40) <令和6年4月> 修士
		人間と法
兼任	助教	仙波 慎平 (34) <令和6年4月> 修士
		コンピュータリテラシー I 体育実技 コーチング論 競技スポーツアナリティクス演 習A (レース分析) 競技スポーツアナリティクス演 習B (ゲーム分析)
兼任	助教	常浦 光希 (34) <令和6年4月> 修士
		基礎ゼミナール I フレッシュマンセミナー キャンプ実習 基礎ゼミナール II キャリアディベロップメント
兼任	助教	坂本 康輔 (32) <令和6年4月> 修士
		器械運動
兼任	助教	田中 耕作 (32) <令和6年4月> 修士
		コンピュータリテラシー I 体育実技 体力科学実験演習 I (基礎) 体力科学実験演習 II (応用)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 大輔 (40) <令和6年4月> 修士
		人間と法
兼任	助教	仙波 慎平 (34) <令和6年4月> 修士
		コーチング論 競技スポーツアナリティクス演 習A (レース分析) 競技スポーツアナリティクス演 習B (ゲーム分析)
兼任	助教	常浦 光希 (34) <令和6年4月> 修士
		フレッシュマンセミナー 基礎ゼミナール II
兼任	助教	坂本 康輔 (32) <令和6年4月> 修士
		器械運動
専 任	講師	田中 耕作 (30) <令和6年4月> 修士
		ハイパフォーマンススポーツ演 習 I キャンプ実習 スポーツデータサイエンス入門 コンピュータリテラシー I 体育実技 体力科学実験演習 I (基礎) 体力科学実験演習 II (応用) ゼミナール I (基礎) ゼミナール II (応用) 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	片桐 夏海 (35) <令和6年4月> 修士
		体育理論
兼任	助教	SACKOSalif (44) <令和6年4月> 修士
		英語Ⅱ 国際関係論 多文化共生のための異文化理解 政治・経済学
兼任	助教	増岡 希望 (32) <令和6年4月> 学士
		表現活動による人間力養成Ⅰ 表現活動による人間力養成Ⅱ 表現活動による人間力養成Ⅲ 表現活動による人間力養成Ⅳ
兼任	講師	吉川 耕作 (74) <令和6年4月> 学士
		剣道Ⅰ(基礎)
兼任	講師	原 賢二 (45) <令和6年4月> 博士
		救急処置法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	片桐 夏海 (35) <令和6年4月> 修士
		体育理論
兼任	助教	浦 佑大 ( ) <令和6年4月> 修士
		体育理論
兼任	助教	SACKOSalif (44) <令和6年4月> 修士
		英語Ⅱ 国際関係論
兼任	講師	原 賢二 (45) <令和6年4月> 博士
		救急処置法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濱浪 一則 (61) <令和6年4月> 学士
		スポーツ外傷・障害の基礎知識 I
兼任	講師	降屋 丞 (51) <令和6年4月> 学士
		サッカー
兼任	講師	坂本 博秋 (49) <令和6年4月> 学士
		バレーボールⅡ (応用)
兼任	講師	山本 清人 (64) <令和6年4月> 学士
		ソフトボール
兼任	講師	小村 淳 (54) <令和6年4月> 学士
		ラグビー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濱浪 一則 (61) <令和6年4月> 学士
		スポーツ外傷・障害の基礎知識 I
兼任	講師	降屋 丞 (51) <令和6年4月> 学士
		サッカー
兼任	講師	桂 秀樹 (55) <令和6年4月> 学士
		ハイパフォーマンススポーツ演習 I
兼任	講師	坂本 博秋 (49) <令和6年4月> 学士
		バレーボールⅡ (応用)
兼任	講師	山本 清人 (64) <令和6年4月> 学士
		ハイパフォーマンススポーツ演習 I ソフトボール
兼任	講師	小村 淳 (54) <令和6年4月> 学士
		ハイパフォーマンススポーツ演習 I ラグビー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 誠一 (44) <令和6年4月> 学士
		ハンドボールⅠ(基礎) ハンドボールⅡ(応用)
兼任	講師	中川 和之 (41) <令和6年4月> 修士
		バスケットボールⅠ(基礎) バスケットボールⅡ(応用)
兼任	講師	栗坂 節子 (76) <令和6年4月> 修士
		労働法規 労働安全衛生法
兼任	講師	関 京子 (59) <令和6年4月> 修士
		ライフコーチング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 誠一 (44) <令和6年4月> 学士
		<b>ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ</b> ハンドボールⅠ(基礎) ハンドボールⅡ(応用)
兼任	講師	栗坂 節子 (76) <令和6年4月> 修士
		労働法規 労働安全衛生法
兼任	講師	関 京子 (59) <令和6年4月> 修士
		ライフコーチング
兼任	講師	<b>中川 定江 (68) &lt;令和6年4月&gt; 学士</b>
		<b>TOEICⅠ TOEICⅡ TOEICⅢ TOEICⅣ</b>
兼任	講師	<b>稲垣 友仁 (54) &lt;令和6年4月&gt; 学士</b>
		<b>コーチング基礎</b>

(1) -②担当教員表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・令和6年4月 矢野智彦准教授、令和6年4月からの教授未就任。
- ・令和6年4月 嘉戸洋准教授、教員配置変更のため未就任。
- ・令和6年4月 前川真姫准教授、退職のため未就任。
- ・令和6年4月 國友亮佑講師、教員配置変更のため未就任。
- ・令和6年4月 宮本彩講師、就任。
- ・令和6年4月 保科圭汰講師、就任。
- ・令和6年4月 江波戸智希講師、就任。
- ・令和6年4月 田中耕作講師に昇格、就任。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	1	4	0	11	0	4	1	7	0	12	0
(4)	(1)	(7)	(0)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	1	7	0	12	0	4	1	7	0	12	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{12} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	嘉戸 洋	R6.4	選択	ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅰ	①	R6.4一身上の都合のため就任辞退		
				選択	コーチング論	①			
				選択	ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅱ	②			
				選択	ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅲ	②			
				必修	ゼミナールⅠ（基礎）	①			
				選択	ハイパフォーマンススポーツ演習Ⅳ	②			
				必修	ゼミナールⅡ（応用）	①			
2	准教授	前川 真姫	R6.4	選択	健康科学概論	②	R6.3退職のため就任辞退		
				選択	海外研修	②			
				選択	体力科学実験演習Ⅱ（応用）	①			
				必修	ゼミナールⅠ（基礎）	①			
				必修	ゼミナールⅡ（応用）	①			
3	講師	國友 亮佑	R6.4	必修	基礎ゼミナールⅠ	①	R6.4教員配置変更のため就任辞退		
				必修	フレッシュマンセミナー	②			
				選択	トレーナー論	②			
				選択	トレーニング演習Ⅰ（基礎）	②			
				選択	フィットネスプログラム論	②			
				選択	トレーニング演習Ⅲ（発展）	②			
				必修	ゼミナールⅠ（基礎）	①			
				必修	ゼミナールⅡ（応用）	①			
選択	卒業研究	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	8 科目	必修	7 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	15 科目	選択	6 科目	選択	9 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	23 科目	計	13 科目	計	10 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	8 科目	必修	7 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	15 科目	選択	6 科目	選択	9 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	23 科目	計	13 科目	計	10 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{3}{11} = 27.27\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
〇〇	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の退職および配置換え等に伴う未就任教員について、補填や科目担当教員の調整に十分対応しており、大学運営に支障が出ることはない。新たな体制で新学科を開始しており、学生には担任教員を配置し履修指導、学習指導を行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和〇〇年)	該当なし  【認可】 遵守事項	履行中	
認 可 時 (令和〇〇年)	該当なし  【認可】 助言事項	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	・ 環太平洋大学の既設 学科等（次世代教育学 部教育経営学科（通信 教育課程））の収容定 員超過の改善に努める  【AC】 指摘事項 (改善)	平成28年度より入学定員160人から 80人（80人減）（編入学定員は680 人から340人（340人減））に見直 しを行っており、学年進行によ り 収容定員についても、平成29	今後は、社会教育・生涯教育の観点
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)	  【AC】 指摘事項 (改善)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□度)	  【AC】 指摘事項 (法令違 反)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	  【AC】 指摘事項 (是正)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)	  【AC】 指摘事項 (改善)	履行中	

## 7 その他全般的事項

### <体育学部 競技スポーツ科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 教養科目（キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ）に関する変更 ② 専門基礎科目追加	① 学科特有のキャリア選択があるため、教養科目キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡは必修から選択に変更。（授業科目の概要を参照） ② 教育内容の充実のため、専門科目3科目を追加。（授業科目の概要を参照）

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD・SD実施推進委員会を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 教職員を構成員（FD実施推進委員長、同委員）として、定期開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD・SD活動や授業評価、授業改善等に関すること全般</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業公開（教員（事務職員も含む）相互の授業参観）</li> <li>・ 学生による授業評価アンケート、授業評価結果によるリフレクションペーパーの作成</li> <li>・ 全教職員対象のFD・SD研修会の開催</li> <li>・ 全教職員と学生参画によるFD・SD研修会の複数回開催</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業公開については、一部の専任教員を対象に実施している。</li> <li>・ 授業評価アンケートは、アンケート集計結果を科目担当者（兼任教員含む）へ通知し、改善を促している。</li> <li>・ 講演会・ワークショップ・セミナー形式にて年間9回の開催予定</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 2024年度 5/7（火）開催済 6/4（火）、7/2（火）、8/20（火）、10/22（火）、11/26（火）、12/17（火） 1/7（火）、2/25（火）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 全学、学科、科目、教員ごとに出たアンケート集計結果は各教員（兼任教員を含む）にフィードバックし、的確に授業の改善が行えるよう役立てている。 フィードバック後、リフレクションペーパーには改善点を含めたコメントを記入し、さらに一定基準を下回る評価科目に対しては、具体的な改善計画を作成し「FD実施推進委員会」に提出している。</p>
---

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回実施している。具体的には、各学期の終期に1回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

評価結果に基づき担当教員がリフレクションペーパーにまとめ、閲覧可能な状態で図書館に設置し、

ホームページへも公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
体育学部では、平成19年開学以来体育・健康・スポーツ科学分野の教育研究を展開し、トレーニングセンター（通称：トップガン）並びにスポーツラボ（通称：インスパイア）の設置に伴い、平成31年には「スポーツ科学コース」を開設して、全国大会での上位競技成績や日本代表選手として世界大会に出場するなど短期間で著しい競技力向上に結びつく教育研究成果を残すことができた。  
そこで、これまでの競技スポーツ領域の教育研究成果をもとに、既存の教育課程を発展させ、新たに専門的教員を加えて、「競技スポーツ科学科」を設置する。  
これにより、身体機能の理解、スポーツ実践演習、アスリートキャリア、科学的根拠による専門知識と競技力向上の専門的指導を体系的に学び、（１）全国及び世界レベルでの競技スポーツでの活躍を目標に掲げ、自らの競技力向上を図ることができる知的アスリートの育成と、（２）科学的知識と専門的スキルにより、トップアスリートの競技能力向上を図ることのできる有能な人材（コーチ・サイエンティスト）を育成する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・令和6年8月31日 公表予定

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定（令和6年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画  
令和2年度に認証評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、令和3年3月に大学評価基準に適合すると認定を受けた。令和9年に認証評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討・準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。